



4. 参加負担金 1,000円(資料代等)  
宿泊費 10,000円(食事代含)

5. その他

☆総会の際に配布する資料等があれば、当日持参されるか、9月20日(金)までに(公財)滋賀県人権センター 奥村宛に送付してください。<50部程度>  
☆フィールドワークは、雨天決行します。暑さ対策をしっかりとって、歩きやすい服装でお越しください。なお、各フィールドワークは定員を設けています。ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

6. フィールドワークのコース一覧



7. 総会・フィールドワークに関するお問い合わせ先

(公財) 滋賀県人権センター 担当：本野宇市、奥村友子

TEL : 077-522-8253 FAX : 077-522-8289

MAIL : hikari@mx.bw.dream.jp

# フィールドワークコース紹介

詳細については  
”見どころ紹介”  
をご覧ください

## 【草津コース】

### 「地域の歴史」と「人権と福祉のまちづくりの取り組み」に学ぶ ～キムチ作り体験～

<ねらい>

草津市立常盤東総合センター（愛称ハート&ライト）は、人権と福祉のまちづくりの拠点施設、開かれたコミュニティセンターとして2009年4月にリニューアルオープンした施設で、2005年度に設立されたNPO法人ハート&ライトに業務を一部委託しながら、協働による人権と福祉のまちづくりを進められています。当地域（芦浦町）は、古くから農村地域の特性を活かして採れたて野菜をJAなどへ販売しており、近年NPO法人により、これを活用した特産品開発（キムチ加工販売）が進められています。

今回は、地域（部落）の歴史やまちづくりに向けた取り組みを学びながらキムチ作りに挑戦いただきます。また、フィールドワークでは国指定史跡の芦浦観音寺も見学いただきます。



<芦浦観音寺>

## 【甲賀コース】

### 滋賀県水平社発祥の地と天保義民の足跡を訪ねて

<ねらい>

今回のフィールドワークでは実際に滋賀県水平社の結成大会が行われたお寺（厳浄寺）を訪ね、当時の歴史的背景と水平社結成にかけた人々の思いを学びます。また、午後からは天保義民の足跡をフィールドワークします。天保義民とは天保13（1842）年10月、幕府の理不尽な検地に抗議するため、甲賀・野洲・栗太郡の農民たちが結集し「検地10万日（約270年）の日延べ」を勝ち取った「天保一揆」のことです。天保義民は、江戸時代に全国で起こった一揆の中で唯一農民側が勝利した一揆でした。

民衆が自らの人権を勝ち取るため立ち上がった2つの大きな出来事とその熱い思いを一緒に追体験しませんか？ちなみにこの甲賀市・湖南市の地は自然豊かな風光明媚な場所であるとともに、旧東海道53次の宿場町が3つもあるなど、歴史的な名所旧跡が数多く残っている場所です。皆様のお越しをお待ちしております。



<厳浄寺>

## 【米原コース】

### さいぼし作り体験と戦争の足跡を訪ねて

<ねらい>

息郷地域総合センターは、7年前に米原市から指定管理者制度を受託し、NPO法人ヒューマンネットワーク米原が運営しています。

センターでは、新たな啓発の手法として、長年地元で作られている「さいぼし」を体験する取り組みを行っています。皆さんには、ドラム缶を改良した「さいぼし窯」を使ったさいぼし作りに挑戦していただきます。

さいぼし作り体験のあとは、戦時中に掘られた列車避難壕と旧米原小学校にある平和の光像を見学します。ここでは、地元の方からの説明をもとに戦争と平和について学びたいと思います。

さいぼしを“つくる”ことを楽しみながら、私たちの身近にある平和・人権に関する教材の掘り起しの参考になればと思います！！

さいぼしとは・・・

馬肉を桜の木などでいぶして燻製にしたものです。塩のみで味付けをしています。

## 【近江八幡コース】

### 八幡靴と被差別部落の歴史を訪ねて

<ねらい>

コトワ靴製作所のある街一帯は、かつて「八幡靴」として名高い手縫いの革靴の一大生産地でした。しかし、時代の移り変わりと共に、手作りの「八幡靴職人」は減少し、今では数名となりました。

今回、伝統の技を守っている手縫い靴工場で熟練工の技を間近で見学することは貴重な体験となることでしょう。

その後、八幡地域の現状等についてのお話を伺い、地域の歴史等について学びます。



<靴つくりの様子>



<近江八幡の町なみ>

今回のフィールドワークを、今後の皆さまの活動に活かしていただければ幸いです。